

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	放課後等デイサービス パーシー		
○保護者評価実施期間		R7年12月1日	～ R8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間		R7年12月1日	～ R8年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日		R8年1月15日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちの支援に対する満足度が高いこと	活動プログラムが固定化しないよう、スタッフ間で話し合い、こども一人一人のレベルも考慮し、楽しみながら取り組める内容を検討している。	ひとりひとりの好きな物なども、プログラムに取り入れ事ができれば、より興味を持って活動に参加出来るのではないか。
2	こどもについての情報共有をスタッフ間で細めに行い、計画作成に活かしていること。	毎朝のミーティングも含めて、スタッフ間が話しやすい環境作りや関係性作りを行っている。そのため、何かあればすぐにスタッフ間で相談や報告が行えるようになり、こどもにとっても、より良い支援が行えるようになっている。	これからもスタッフ間でのホウレンソウをしっかりとを行い、スタッフ全員で統一した支援が行えるよう努めていく。
3	活動プログラムについて、ほぼ全員のスタッフで話し合い、立案をチームで行っていること。	毎朝のミーティングも含めて、スタッフ間が話しやすい環境作りや関係性作りを行っている。そのため、活動プログラムもほぼ全員の意見が出しやすくなり、チームでの立案が出来ている。	これからもスタッフ間での関係性を築いていき、より意見を出しやすい環境を整え、情報共有しながら活動プログラムを検討、立案していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別対応が必要なこどもに対して、十分な空間が確保できていないこと。	事業所の構造上、部屋の確保が難しい。	パーテーションや、間仕切りを作ることにより、少しでも外的刺激が少ない環境を作ることが出来るのではないか。
2	児童発達支援センターや、社会福祉協議会等とのつながりがほとんどないこと。	日々の活動プログラム検討や業務に時間をかけているので、外からの情報を取ることが少ない。	他事業所との連携も含め、外からの情報を積極的に得るようにしていく事が必要。
3	保護者への色々な情報の周知が足りない。	こどもに対しての様子や情報を伝えることは多くあるが、事業所内にあるマニュアルの情報や、保護者参加の研修等の周知をしていかなかった。	非常時の対応について保護者に周知をする必要があるため、今後周知していく。